

統計課アラカルト

今月号から隔月ごとに統計課アラカルトと題して、わが茨城県総合開発部統計課の面々を紹介してゆくことにします。その一番打者として今回はまず野口統計課長及び企画調整係を紹介します。

統計課を紹介するのにかかせないのが、野口貢統計課長、今年6月1日に農林水産部より転勤になったばかり。酒はウイスキーしか飲まないガンコなところもある反面県庁各課の中で最も多い9係60人の管理役として奮闘しているが、休みともなれば好きなサケの話をしながら室内遊戯に興じる粋なところもち合わせている。目下のところ、統計思想の普及や、統計調査員確保、統計のコンピューター導入など難問山積で頑張りがいがあるというもの。家に帰れば2人の子を持つ良きオヤジでもある。

次が企画調整係、トーケイ、この不可解きわまる歴大な仕事の企画調整を一手に引き受けて日夜奮闘しているのが、大正生まれの宮永勝課長補佐兼企画調整係長、市内某所より毎日こわれかつた自転車で一生涯命通っている。好きなことは聞けば御本人は仕事と答えるが、課内のウワサでは酒とパチンコと中国遊戯とか。また最近ビリヤードにも手を出したとか、本誌を読んで腕に自信のある方はいつでもお手合わせと豪語しているが本当のところは？

本俸24円なりの初任給で県職員になったという大ベテラン大森あきの主事。茨城県調査統計連絡協議会、茨城県統計協会等忙しい仕事をしているにもかかわらず、心は若く海、山とどこへでも気軽に外かけていく自称「おかあちゃん」。旅行の話をするとときと1人娘の自慢をするときのしあわせそうな顔は他では見られない。

統計情報交換会、統計調査員の表彰、県民手帳の編さん発行など幅ひろい仕事を担当しているのが俵今朝子主事。姓名の儼は「タワラ・ケサコ」と読みちょっと珍しいお名前。目下のところ昭和49年版茨城県民手帳の出版に熱中しているモーレッツ女丈夫ぶり。人当たりの良さはバツグンだが、最近になって自分の年を気にするように

なった様子。

各種の統計に関する研修会、講習会を一手に引き受け頑張っているのが河原井信主事。中国大陸のソウルで生まれ、勤めたところは統計課とちよと変り種だが、最近熱烈な恋愛結婚？をして目下友部町のスイートホームから愛妻に送られて常磐線を通ってくるスタイリスト。統計に対する熱意と含蓄の深さは相当なもの。

今年の6月に突如転勤を命ぜられ、鹿島の海の男から丘に上った河童となったのは大曾根憲雄主事。統計年鑑、県勢要図並びに本誌統計茨城の編集者。毎日走行キロ数13万kmの車で小川町から通っている。趣味は酒、麻雀、パチンコと人のやることは何んでもやる組だが目下アマチュア無線にいそしみ、毎夜世界中のアマチュア無線局を追いかけ回しているらしい。最近長男が生まれて息子の顔を見ない日は日も夜も明けない子ぼんのう。

つぎは統計グラフ、統計カレンダー、統計調査員ハンドブック等統計思想の普及向上に活躍している上沢光男主事、数理統計にかけてはなかなかの理論家。目下市内4畳半2間のアパートに身を寄せてアルコールと映画に浸っている独身、そろそろ年頃になってきたので花嫁さん募集中とかで、本人はあう人ごとに生い立ちやら給料等をいって紹介をたのんではいる様子。成果のほど知る由もないところ。

いばらき統計だより、統計の電算化など困難な仕事に頑張っているのは鈴木一郎主事、御本人の自己紹介によると、日立市は高鈴山のふもとに姉3人をもつ長男として生まれ、出来が悪いとのことだが、なかなかコンピューターを板寄せたら課内随一のエキスパート。県庁は電子計算課のはえぬぎである。目下のところアルコールの味に癡って、毎夜巷を徘徊しては、酔いのメカニズムの方の研究をしている最中とか。

最後は当係唯一人の独身女性。通称ヤツチャンこと関谷安嬢、統計協会の会計を担当して頑張っている。瓜連町から水郡線を通っているがステキな男性はなかなかみつからないとか。目下ボーイフレンド募集中。



——第15回茨城県統計大会が開かれます——



第15回茨城県統計大会が「10月24日」（水）に水戸市の水戸市民会館大ホールで開かれることになりました。ご存知のように統計関係者が一堂に集う年1回の有意義な行事です。

年々社会的重要性を増す統計の必要性を強調するとともに永年統計調査にたづさわってきた方々の表彰、市町村統計書の展示、第24回茨城県統計グラフコンクール入選作品の展示など種々の行事を予定しておりますので、

関係者の皆様の多数の参加を期待しております。

交通 茨城交通、関東鉄道、水戸駅前高島屋前バス停より市役所経由のバスで市役所前下車、徒歩1分。

- 統計は明るい生活^{くらし}の道しるべ
- 統計で示す県勢 伸び行く郷土

第5次漁業センサスのお知らせ

11月1日に第5次漁業センサスが行われます。この調査は、昭和23年度に第1回の調査が行われ、以来今回で5回目に当たります。

わが国の漁業生産は年々上昇を続けているが、国民経済の高度成長と消費水準の向上に伴って、水産物に対する需要は年々増大し、生産がこれに追いつけない状態となっています。

また、沿岸漁業においては、小規模経営が大多数を占め、従来から生産性の低さと所得の低さが問題となっています。

漁業の生産を増大し水産物需要の増加に対応するとともに、生産性の向上を図り、漁業就業者が他産業就業者と均衡のとれた所得を確保することができるようにする

ことがわが国漁業政策の重要な課題であると思われま

す。最近、工業化、都市化の急速な進展に伴う沿岸漁場のたい廃と水質汚濁が進行し、さらに漁業就業者の他産業流出による労働力不足の激化等、漁業生産をめぐる解決を要する幾多の問題が生じています。

以上のような漁業をめぐる条件変化の下で、おきている漁業生産構造、就業構造等をは握するために、海面漁業、内水面漁業を経営している方、漁業に従事している方、漁船を所有している方、河川漁業協同組合員および養殖を営んでいる方を個別に調査するもので、その結果それらの実態が浮き彫りされることが期待されています。

）統計ニュース（

—— 10月の行事 ——

○10月1日	住宅統計調査日	○10月16日～17日	家計・貯蓄調査ブロック会議
○10月4日～5日	工業統計調査ブロック会議	○10月23日～24日	生産動態統計調査ブロック会議
○10月12日	労働力特別調査調査員打合せ会	○10月24日	第15回茨城県統計大会
○10月15日～16日	関東ブロック統計教育研究協議会	○10月30日～31日	第24回全国統計大会